

2020年3月24日
九州電力株式会社

国際協力機構（JICA）「キューバ国 再生可能エネルギーの開発に向けた
電力セクターマスタープラン策定プロジェクト」案件を受託しました
—九電グループの知見を活かし、キューバ国の再エネ導入を促進—

当社は3月23日、九電グループの西日本技術開発株式会社、一般財団法人日本気象協会と共同で、独立行政法人国際協力機構（JICA）より、海外コンサルティング案件として「キューバ国 再生可能エネルギーの開発に向けた電力セクターマスタープラン策定プロジェクト」（以下、本調査）を受託しました。

キューバ政府及びキューバ電力公社は、2030年に再生可能エネルギー（以下、再エネ）比率を24%（現状約5%、kWhベース）とする目標を掲げ、再エネ導入推進を図っています。

本調査では、再エネ導入を促進するため、キューバ全土における再エネポテンシャルの確認を行うとともに、既存の再エネ開発計画を検証し、再エネ導入に向けた電力セクターマスタープラン※を策定します。

九電グループではこれまでも、キューバ国において再エネ導入及び電力供給改善に関する調査実績を積んでおり、同国関係機関と良好な関係を構築してきました。

本調査においても、当社の送配電部門が有する再エネ導入時の系統安定化の知見や、九電グループが九州で培ってきた再エネ導入に関する技術とノウハウを活用して、キューバ電力公社と共同で同国の再エネ導入促進と電力安定供給の両立に取り組みます。

九電グループは今後も、グループの総合力により、相手国の課題やニーズに対するソリューションを提供し、新たな事業機会の創出を目指してまいります。

※ 電力に関し将来の設備形成の基本となる総合的な計画。

以 上

＜参考＞ 本調査の概要

プロジェクト名	キューバ国 再生可能エネルギーの開発に向けた電力セクター マスタープラン策定プロジェクト
対象国	キューバ共和国（首都：ハバナ）
関係官庁・機関	<ul style="list-style-type: none"> ・キューバ電力公社（UNE） ・エネルギー鉱山省（MINEM） ・外国貿易省（MINCEX） 他
受託期間	2020年3月～2022年2月（2年間）
主な業務内容	<p>(1) 再エネポテンシャルの評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再エネポテンシャル評価と開発エリアマップ作成 <p>(2) 再エネ開発に伴う電力系統の安定運用を可能とする方法及び対策の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2030年までの再エネ開発計画への電力系統の安定化策の盛り込み <p>(3) 電力セクターマスタープランの策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記(1)、(2)を考慮した再エネ開発計画の検討、及び導入に向けた電源・系統拡充計画の策定 <p>(4) UNE 関係者の技術力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UNE の技能向上に資する技術指導・移転
キューバ国の概要	<p>人口：約1,149万人(2017年世銀データ、九州と同程度)</p> <p>面積：109,884 km²(本州の約半分)</p> <p>言語：スペイン語</p> <p>主要産業：観光業、砂糖、タバコ、魚介類、石油、ニッケル、医療・バイオ産業</p> <p>国内総生産(2017年：世銀)：969億ドル(一人当たり8,433ドル)</p> <p>経済成長率(2017年：国家統計局)：1.8%</p>
キューバ国における 当社の取組み ※いずれも JICA 案件	<p>2017年 4月～2018年6月：再生可能エネルギー導入にかかる 情報収集・確認調査</p> <p>2018年 6月～2019年3月：青年の島における電力供給改善計画準備 調査</p> <p>2018年12月～2019年2月：電力セクターマスタープラン策定プロジ ェクト詳細計画策定調査</p> <p>2019年 5月～：青年の島における電力供給計画 (無償資金協力)</p>



出所：外務省 web